




安全にお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 危険	人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

● 図記号の意味は以下のとおりです。

 禁止	<u>してはいけない</u> ことを表しています。
 分解禁止	<u>分解してはいけない</u> ことを表しています。
 接触禁止	<u>触れてはいけない</u> ことを表しています。
 ぬれ手禁止	<u>ぬれた手で扱ってはいけない</u> ことを表しています。
 水ぬれ禁止	<u>水がかかる場所</u> で使用したり、 <u>水にぬらしたり</u> してはいけないことを表しています。
 指示	<u>しなければならない</u> ことを表しています。
 電源プラグを 抜く	<u>電源プラグをコンセントから抜いていただく</u> ことを表しています。

■ 本体、ACアダプタ、USBケーブル、microSDメモリーカードの取り扱いについて(共通)

危険



禁止

直射日光の当たる場所や炎天下の車内、火やストーブのそばなど、高温になる場所で使用、保管、放置しない
火災の原因となります。



禁止

火の中に投げ入れたり、加熱したりしない
火災の原因となります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れない
火災・感電の原因となります。



分解禁止

分解や改造をしない
火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

水や雨滴、海水、飲料水、ペットの尿などでぬらさない
中に水が入ると、火災・感電の原因となります。



指示

ACアダプタは、必ず付属品またはオプション品(PCAO1SHZ10)を使用する
火災・感電の原因となります。

警告



禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
火災・感電の原因となります。



禁止

破損したまま使用しない
火災・感電の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で使用しない
火災・感電の原因となります。



禁止

端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)や燃えやすいものなどを接触させない

また、内部に入れない

ショートによる火災・感電の原因となります。



指示

周囲温度10℃～35℃、湿度20%～80%の範囲で充電する

極端な温度下で充電すると火災・感電の原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布や布団などで覆ったり、包んだりしない
熱がこもって、火災の原因となります。



禁止

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所では使用しない
使用中や充電中に発生した静電気がガスに引火し、火災の原因
となります。



指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、今までと
異なるときは、直ちに次の作業を行う

・ACアダプタを接続しているときは、コンセントから抜く

・本製品の電源を切る

・「修理について」(▶46ページ)を参照し、点検・修理を依頼する
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。



指示

充電停止状態(バッテリー状態ランプがオレンジ/緑点滅)にな
った場合は、直ちにACアダプタをコンセントから抜く

・再度充電をする場合は、しばらく待ってから行う

・電源が切れた状態(サスペンド含む)で何度も充電が停止する
場合は、充電回路または内蔵バッテリーの異常が考えられるの
で直ちに充電を中止し、「修理について」(▶46ページ)を参照
し、点検・修理を依頼する

異常な状態のまま使用すると、火災の原因となります。

注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かない
落下して、けがの原因となることがあります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所で使用、保管しない

火災・感電の原因となることがあります。



指示

子供が使用する際には、保護者が取り扱い方法を教え、使用中も正しく使用しているか確認する
けがの原因となることがあります。



禁止

梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かない
鼻や口をふさいで窒息したり、けがの原因となることがあります。

■本体の取り扱いについて



警告



指示

次の場所では電源を切る
・混雑した場所(満員電車の中など)
・医療機関(病院など)の中
・医療用電気機器の近く
・高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器(火災報知器など)の近く
・航空機内

電波により心臓ペースメーカー、医療用機器、電子機器、航空機の動作に影響を与え、事故の原因となります。

また、航空機内で使用することは、航空法違反となり処罰されることがあります。



指示

心臓の弱い方は、音量の設定に注意する
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけない

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。



禁止

フラッシュの発光部を人の目に近づけて点灯発光しない
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車やバイク、自転車などの運転中や歩行中は本製品を使用しない

交通事故の原因となります。

注意



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売店に電波による影響について確認のうえ使用する

車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となることがあります。



指示

皮膚に異状が生じた場合は直ちに使用をやめ、医師の診断を受ける

体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などの原因となることがあります。

本製品には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しています。

使用箇所	使用材料	表面処理
本体 裏面	AL 合金	染色+印刷
本体 左/右側面	PC樹脂	塗装
デコレーションパネル 左/右	PC樹脂+ABS樹脂	塗装+印刷
電源キー	PC樹脂+ABS樹脂	塗装
音量キー	PC樹脂+ABS樹脂	塗装
ディスプレイ	ガラス	なし
カメラ窓	ガラス	なし
microSDメモリーカード スロットカバー	PC樹脂+ABS樹脂	塗装



指示

本製品を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがあるので注意する

長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

爪先でタッチパネル操作をしない

爪が割れたり、突き指などが原因となることがあります。



指示

健康のために、次のことを守る

体調に悪影響を及ぼす原因となることがあります。

- ・連続して使用する場合は、1時間ごとに10分～15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- ・新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
(操作場所の明るさの目安:500ルクス)
- ・画面からある程度の距離をとって使用してください。
- ・明暗の差の大きい所では使用しないでください。
- ・日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。
- ・本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。
- ・お使いになる方によっては、ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合があります。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診断を受けてください。

■ACアダプタの取り扱いについて



警告



禁止

ACアダプタは誤った使い方をしない

火災・感電の原因となります。

- ・コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
- ・ACアダプタにコードを巻きつけたり、コードを結んだり、束ねたりしないでください。
- ・コードの上に重いものをのせないでください。



電源プラグを
抜く

雷が鳴りはじめたら、ACアダプタをコンセントから抜く

落雷により火災・感電の原因となります。



禁止

コンセントにつながれた状態でコネクタをショートさせない

火災・感電の原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製のストラップなどの金属類を接触させない

火災・感電の原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用する

誤った電圧で使用すると火災・感電の原因となります。

ACアダプタ: AC100V~240V

(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



指示

電源プラグに付いたほこりは、乾いた布で拭きとる

火災・感電の原因となります。



指示

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、ほこりが付着して火災・感電の原因となります。



禁止

電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

火災・感電の原因となります。



禁止

ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを無理に引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



電源プラグを
抜く

お手入れのときや長期間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く

火災・感電の原因となります。



電源プラグを
抜く

水などの液体が入った場合は、直ちにACアダプタをコンセントから抜く

火災・感電の原因となります。



禁止

タコ足配線をしない

タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

■ USBケーブルの取り扱いについて



警告



禁止

USBケーブルは誤った使い方をしない

火災・感電の原因となります。

- ・ケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
- ・ケーブルを結んだり、束ねたりしないでください。
- ・ケーブルの上に重いものをのせないでください。



禁止

USBケーブルを抜き差しするときは、金属製のストラップなどの金属類を接触させない

火災・感電の原因となります。



指示

コネクタに付いたほこりは、乾いた布で拭きとる

火災・感電の原因となります。



禁止

USBケーブルを抜くときは、ケーブルを無理に引っ張らない
ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。



指示

お手入れのときや長期間使用しないときは、USBケーブルを抜く

火災・感電の原因となります。

■ microSDメモリーカードの取り扱いについて



注意



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管する
誤って飲み込んだり、けがの原因となることがあります

■ その他



警告



指示

ヘッドセットやヘッドホンを使用するときは、適度な音量にする
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が
聞こえにくいと、事故の原因となります。



注意



禁止

ヘッドセットやヘッドホンをしたまま電源を入れたり切ったり
しない
「ブツッ」という刺激音により聴力に悪影響を及ぼす原因とな
ることがあります。

使用上のご注意

取り扱い上のお願い

■ 共通のお願い

- ・エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- ・この商品に無理な力がかけられないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れていたり、衣類のポケットに入れて座つたりすると、ディスプレイ、内部基盤などの破損・故障の原因となります。
また、ヘッドセットやヘッドホンヘッドホンジャックに差した状態の場合、コネクターの破損・故障の原因となります。
- ・使用や充電方法は、本書や本製品に内蔵の電子マニュアルをよくお読みください。

- ・金属などでこすったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障・破損の原因となります。

■ 本体についてのお願い

- ・タッチパネルの表面を強く押ししたり、爪やボールペン、ピンなど先のとがったもので操作しないでください。
タッチパネルが破損する原因となります。
- ・テレビやラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- ・本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障・破損の原因となります。
- ・ヘッドホンジャックにヘッドセットやヘッドホンを接続する際に斜めに差ししたり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障・破損の原因となります。
- ・使用中、充電中、本製品は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- ・microSDメモリーカードスロットカバーを開いたまま使用しないでください。
故障・破損の原因となります。
- ・ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
故障・破損・誤作動の原因となります。
- ・起動中や動作中に、手や導電性異物(金属など)をディスプレイに接触させたままにしないでください。
タッチパネルの誤作動の原因となります。
- ・磁気カードなどを本製品に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- ・本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤作動の原因となります。

■ ACアダプタについてのお願い

- ・次のような場所では、充電しないでください
 - ・湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・テレビ・ラジオなどの近く
- ・充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

- ・抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの説明書に従ってください。
- ・強い衝撃を与えないでください。また、コネクタを変形させないでください。故障の原因となります。

■ USBケーブルについてのお願い

- ・コネクタがうまく差し込めないときは、コネクタの形や向きを確認してから差し込んでください。
無理に差し込むと故障・破損の原因となります。
- ・強い衝撃を与えないでください。また、コネクタを変形させないでください。
故障の原因となります。
- ・USBケーブルは、パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。
市販のUSBハブなどを使って接続すると、正しく動作しない原因となります。

■ microSDメモリーカードについてのお願い

- ・microSDメモリーカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
故障の原因となります。
- ・端子はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ・端子を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失・故障の原因となります。
- ・microSDメモリーカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- ・microSDメモリーカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ・microSDメモリーカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本製品に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

■ カメラについてのお願い

- ・カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- ・大切なシーンを撮影するときは、必ず試し撮りをして、正しく撮影されていることを確認してください。
- ・撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
- ・カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者(撮影者)などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。
- ・勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布することは違法行為となります。

■ ディスプレイについて

本製品のディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

■ 無線LAN機能／Bluetooth機能に関するご注意

電波法に基づく適合証明について

本製品は、電波法に基づき小電力データ通信システムの無線設備として技術基準適合証明を受けています。したがって本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

下記のことはしないでください。法律により罰せられることがあります。

- ・本製品に内蔵の無線LAN／Bluetoothモジュールを分解、改造する。および、貼ってある証明ラベルをはがす。

周波数帯について

無線LAN機能では、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS/OFDМ変調方式を採用し、与干渉距離は40m以下です。

2.4DS/OF4



Bluetooth機能では、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

2.4FH1



電波干渉に関するご注意

本製品の使用する2.4GHzの周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 1.この機器の使用前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2.万が一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
- 3.その他、何かお困りのことが起きたときは、「お問い合わせ先」(▶48ページ)を参照してください。

海外での使用について

本製品の無線LAN機能は日本国内およびFCC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。フランスなど一部の国/地域では無線LAN機能の使用が制限されます。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。

バッテリーの交換について

バッテリーは消耗品です。充放電を繰り返すうちに劣化し、使用時間が極端に短くなります。

バッテリーの劣化は、使用状況や動作環境によって異なりますが、満充電にしても極端に使用時間が短くなったときは、新しいバッテリーと交換する必要があります。

本製品のバッテリーはお客様自身では交換できませんので、「お問い合わせ先」(▶48ページ)へご連絡いただき、バッテリーの交換を依頼してください。(有償)

リサイクルについて

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客さまが不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず下記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

- ・回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
- ・プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客さまの情報(電話帳、通信履歴、メールなど)は事前に消去してください。



モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力ください。



Li-ion

輸出管理規制

本製品を海外へ輸出する際は、「外国為替及び外国貿易法」(外為法)の適用を受けます。また本製品には米国法に基づく再輸出規制対象品が含まれており、米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。

本製品を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。

米国再輸出規制により本製品をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。詳しい手続きについては、経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

著作権に関するご注意

本製品を利用して著作権の対象となっている著作物を利用することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなり、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

おことわり

本製品に収録されている辞書などの各コンテンツの内容は、それぞれの書籍版コンテンツに基づいて、出版社より電子データとして作成、提供された著作物であり、著作権法により保護されております。したがって当社において、その内容を改変／改良することはできません。

それぞれのコンテンツにおける、誤記・誤植・誤用につきましては、判明したものについて、出版社に連絡させていただいておりますが、修正の是非／時期については、出版社の意向によるため、改善しかねることがございますので、あらかじめご了承ください。


青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス制限について

インターネットのフィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを青少年に見せないようにするための技術です。フィルタリングは、100%万全ではありませんが、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、多くの有害な情報へのアクセスを自動的に制限することができる有効な手段です。

本製品では、有害情報へのアクセス制限機能を有するソフトウェアは提供しておりませんので、18歳未満の青少年が利用される場合は、有償のフィルタリングサービスをご利用ください。詳しくはメディアタブレットのサポートページをご覧ください。

<http://www.sharp.co.jp/support/mediatablet/>

商標、登録商標

-  POWERED BY
NVIDIA TEGRA™
NVIDIA、NVIDIAロゴ、Tegraは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの登録商標または商標です。

- 
microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- **HDMI®**
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

-  
CERTIFIED™ W-Fi PROTECTED SETUP

Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの商標です。

- Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

- 
SRS TruMediaは、SRS Labs, Inc.の商標です。

TruMedia技術は、SRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

- Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Android マーケット、Android マーケット ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、Googleトーク、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerテクノロジーを搭載しています。

Adobe Flash Player Copyright ©1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe、FlashおよびFlashロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。再生するコンテンツによってはFlash Playerの最新版が必要になる場合があります。



- ・Flash Playerを使用する際には、以下の事項をお守りください。(i)ソフトウェアを複製、頒布しないこと。(ii)ソフトウェアを改変したり、派生物を作成しないこと。(iii)ソフトウェアを逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、その他ソースコードの解析をしないこと。(iv)ソフトウェアの権利に関する表明をしないこと。(v)ソフトウェアの使用によって被った間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害、結果的損害等を含む一切の損害の賠償を請求しないこと。
- ・「秀英体」は大日本印刷株式会社の登録商標です。
- ・日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnnIMEを使用しています。iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2011 All Rights Reserved.
- ・その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

本製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント/LCFONTおよびLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。ただし記号など、一部LCフォントでないものもあります。



その他

- ・本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておられません。
 - ・MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
 - ・個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
 - ・ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。
- ・その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA,LLCにお問い合わせください。
- ・本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
 - ・タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。

・永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

・本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されており、その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。

HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。

・MPEG Layer-3オーディオコーディング技術はFraunhofer IIS及びThomsonから実施許諾されています。

本書の表記について

■ 画面上のボタンについて

画面に表示されるボタンやアイコンは、[]で囲んで表記しています。

例) [OK]をタップします。

■ 画面上のメニュー項目などについて

メニュー項目や、画面の名称などは、「」で囲んで表記しています。

例) 「電源OFF」をタップします。

・「デスク」画面が表示されます。

■ 記載内容について

本書に記載している情報は、この説明書の制作時点のもので、お問い合わせ先の情報や画面などが変更されている場合があります。

■ 画面例について

本書に記載している画面は一例です。画面の背景、画面デザイン、表示される項目名、アイコンなどの種類や位置などが実際の画面と異なる場合があります。

■ コンテンツについて

記載のコンテンツは架空のものであり、搭載が確定しているものではありません。